

1993～1994年度

会 長 方 針

会長 葉 山 孝

おかげさまで諸先輩のご指導と実績の10周年、その記念行事も無事終わりました。つまり揺籃期は終わったということです。これからは自らの足でしっかりと大地に立たなくてはなりません。まさに20周年へのスタートです。

このような節目の時に、日ごろ不勉強な私が会長の大任をお任せつかることになりました。いまはただ力の限り誠意だけはつくしたいと思いますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

1. 1993～1994の国際ロータリーの目標は、“行動に信念を、信念は行動に”というものです。このロバート R. バース会長のテーマについて、国府ガバナーは、『どうい
う信念をもって、どのような行動をすればよいか、具体的な提示はありませんでした。
ただお互いがそれぞれの信念をもって行動せよということだと思います。そこで私の
信念ですが、ロータリーの基本精神に忠実でありたい、とにかく自分の職業を確固た
るものにし、職業に奉仕し、その職業を通じて社会に世界に奉仕していきたい』と話
しておられます。
2. 私の会長としての信念は、楽しいクラブづくりということにつきます。
楽しいクラブとは、ロータリーのルールはきちんと守りながら、それにこだわらな
いということだと考えます。
 - (1) いつも新しい会員が入会し、清新と活気にあふれている。
 - (2) 親睦交流の場が、いくつも用意されている。
 - (3) 機会をとらえて「ロータリーの基本」を知るための勉強を少しずつ積み重ねる。
 - (4) 来訪会員の足を止めさせる卓話を工夫する。
3. クラブ活動は、自己クラブだけでなく他への協力が必要です。
 - (1) ロバート R. バース会長の指針の一つに、地区大会は盛大にというのがあります。
当北クラブは、今年度地区大会のコ・ホストです。全員出席その他ご協力をお願い
します。